

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	日本一野菜を食べる村 朝日村ベジタブル・ライフ・プロジェクト
事業主体 (連絡先)	にないーて事務局 上條典泰 0263-99-3366 〒390-1104 東筑摩郡朝日村古見
事業区分	(2)保健、医療、福祉の充実
事業タイプ	ソフト
総事業費	978,500円 (うち支援金: 782,000円)

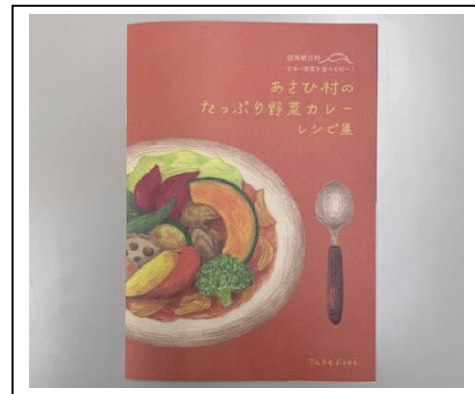
事業内容

1 日本一野菜を食べる村を目指す

朝日村は「日本一野菜を食べる村」を目指しています。野菜をたくさん食べることは、健康づくりにつながり、日々野菜を意識することは、日頃の食生活への関心、野菜産地への興味を深め、地域の産業の振興にもつながるからです。そのために、まず朝日村が長野県、ひいては全国のお手本になることを目標に掲げ、さらなる野菜摂取を目的に、具体的な取り組みとして朝日村オリジナルレシピ集を作成しました。

2 朝日村オリジナルカレーレシピの開発、特産独自メニューのPR

アイデアと協力を村民に呼びかけ、村が一体になって「日本一」を目指し、地域交流にも役立てるプランにしました。また村内の保育園・小学校の給食に取り入れてもらい、さらに食育講座を開催するなど広がりのある取り組みにしました。こうした活動は「朝日村＝野菜の村＝美味しい＝健康＝元気＝住みやすい」という繋がりを生み、「食」をベースにした地域の元気を引き出すことができると思います。



【AR動画入りパンフレット】

【目標・ねらい】

- ①日本一野菜を食べる村を目指す実践プラン
- ②地域参加のオリジナルレシピ(特産品)開発
- ③野菜で健康をかなえる「野菜王国＝朝日村」
- ④地域交流、地域活性の元気づくり

事業効果

■カレーレシピ3種、副菜6種開発

子どもからお年寄りまで好き嫌いを問わず、野菜を美味しくたくさん食べられるカレー(キーマ、スパイス、スープ)3種とその副菜6種が完成しました。本格的でありながら簡単に応用もできるレシピ内容です。

■AR動画が視聴できるパンフレット

スマホで料理実演動画が視聴できる8ページのパンフレットを発行。村内全戸(約1300世帯)に配布するとともに、朝日村のHP、YouTubeでも動画を配信。健康な朝日村、美味しい野菜の朝日村の好印象なイメージ浸透を長野県内、全国にPRします。

■朝日村の保育園・小学校の給食に採用予定

朝日村の教育委員会に働きかけ、令和4年度6月以降、村内の保育園・小学校の給食で採用が予定されています。今後、村内介護施設、デイサービスセンターへも働きかけていきます。

■食育講座開催

幼児保護者を対象に「野菜と子どもの良い関係」、中高年層を対象とした「アンチエイジングと野菜の良い関係」をタイトルに食育講座を開催(アンチエイジング編は新型コロナウィルス感染症予防で中止)。

※自己評価【B】

【理由】

- ・ レシピ内容への高い評価
- ・ 新しい人の繋がりが生まれた
- ・ 給食化、食育講座など立体的展開
- ・ 今後が期待できる朝日村ブランド誕生
- ・ コロナ禍で当初予定していたレシピ数の縮小、料理教室中止で盛り上がり不十分。
- ・ 日本一野菜を食べる村が実現するか、推移調査を見守る段階

今後の取り組み

○朝日村オリジナル野菜いっぱいカレーを広め、日本一野菜を食べる村に向けて前進

今年度はレシピ開発に多くの時間を割きました。次年度は、新しいレシピが朝日村に親しまれ、あわせて村外の皆さまに広がっていくようイベント参加(試食PR)のほか、仲間たちが力を合わせ、また個々がPRしていくことが大切になります。「野菜いっぱいカレー」が朝日村の新しい名物になるよう努めていきます。

○朝日村の女性たちが「何かを成し遂げる」素晴らしさを伝えていきたい

農家の女性たちが主なメンバーになりレシピ開発を実現することができました。春先から晩秋まで畑仕事に追われる毎日ですが、コロナ禍にも関わらず、限られた時間の中で達成できた喜びはひとしおです。長野県の元気づくり支援金があればこそ出来たプロジェクトです。この経験を朝日村の女性たちに引き継いでいきたいと思っています。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある